

2022年3月期決算

2022年5月13日

KDDI株式会社

代表取締役社長

高橋 誠



22.3期 連結業績ハイライト

持続的な利益成長と株主還元強化を両立

- 通信とライフデザインの融合を推進し、成長領域が利益成長を牽引
- マルチブランド戦略を推進し、強固なID基盤を構築

	22.3期	CAGR 19.3期-22.3期	(参考) 19.3期-22.3期 関連目標
売上高	54,467億円	+2.3%	コスト削減等 3年累計 1,000億円規模
営業利益	10,606億円	+1.5%	
ライフデザイン領域 売上高	14,220億円	+14.6%	22.3期 1.44兆円*
ビジネスセグメント 売上高	10,426億円	+5.6%	22.3期 1兆円
配当性向	41.7%	—	40%超
EPS	300.03円	+5.0%	19.3期→25.3期 1.5倍

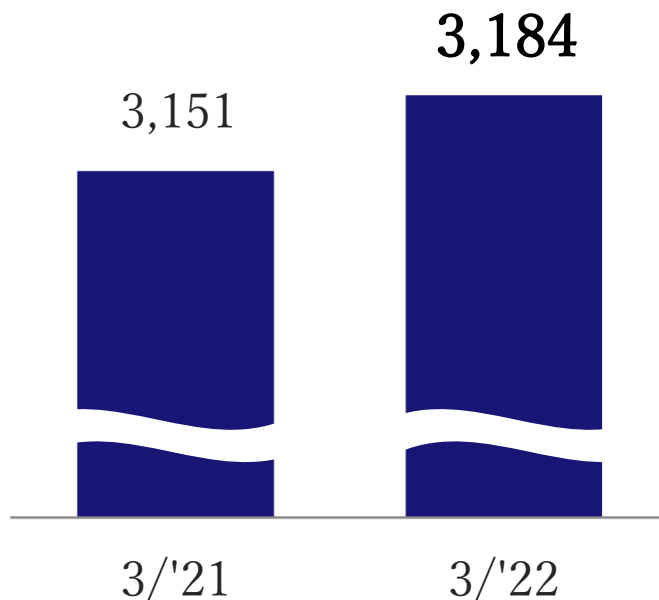
* 中期目標1.5兆円に対し、エネルギー事業における会計処理の変更による影響約600億円を考慮

マルチブランド戦略

強固なID基盤を構築。通信ARPU低下に対し付加価値ARPUは成長

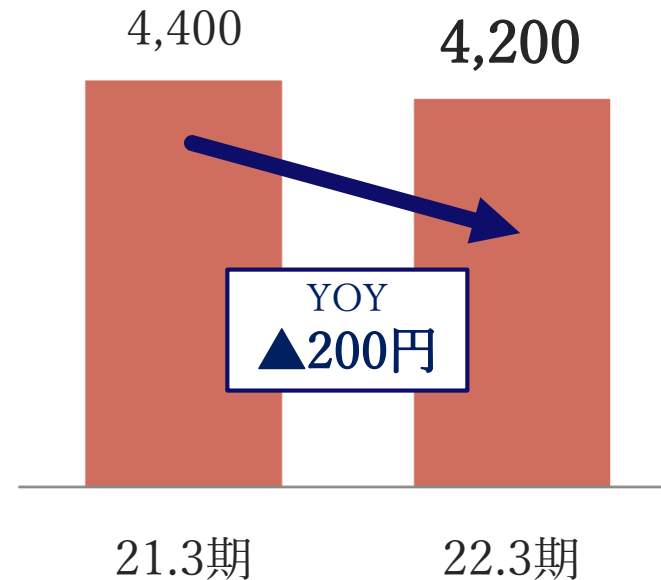
グループID数

(単位：万)



通信ARPU

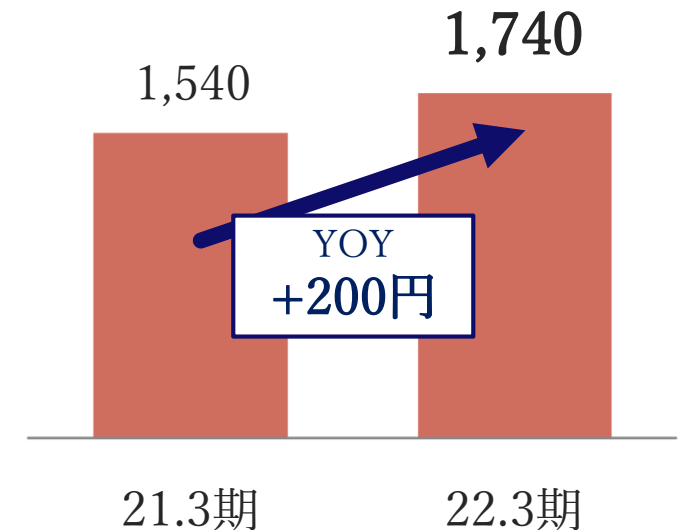
(単位：円)



付加価値ARPU

(補償・でんき含む)

(単位：円)



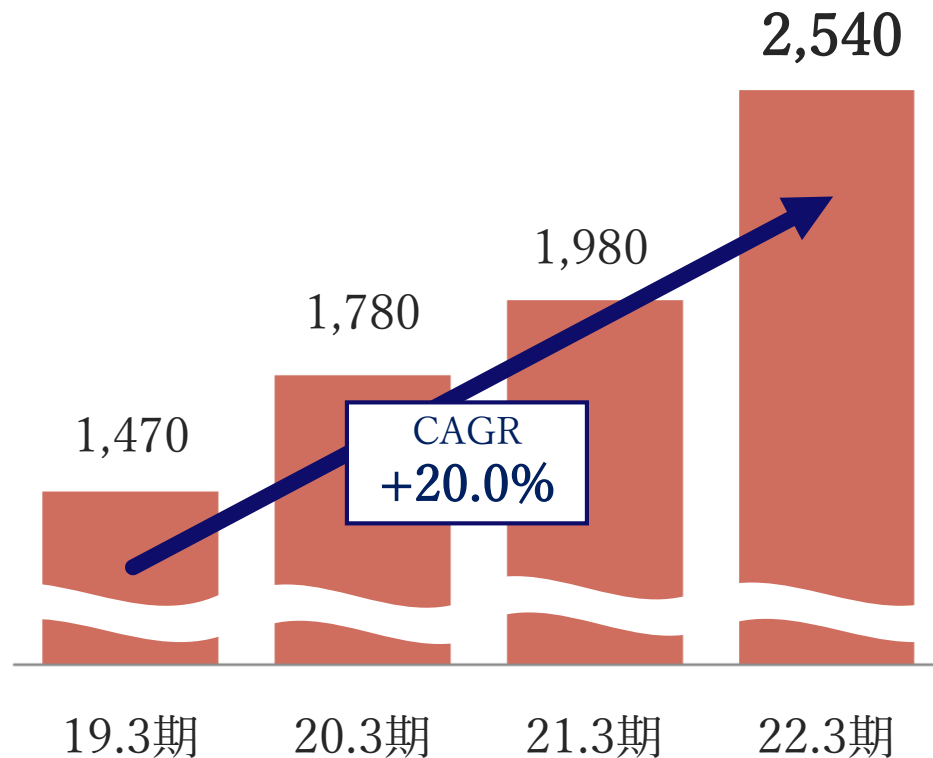
5G端末 累計販売台数は800万台超と順調に推移

ライフデザイン領域

主要サービスが大きく伸長し、営業利益はCAGR二桁成長

営業利益

(単位：億円)



主要指標

au PAY会員数 + au PAYカード会員数

3,700万 (YOY +420万)

うち、au PAYカード会員数

760万 (YOY +110万)

auでんき等契約数

338万
(YOY +50万)

決済・金融取扱高

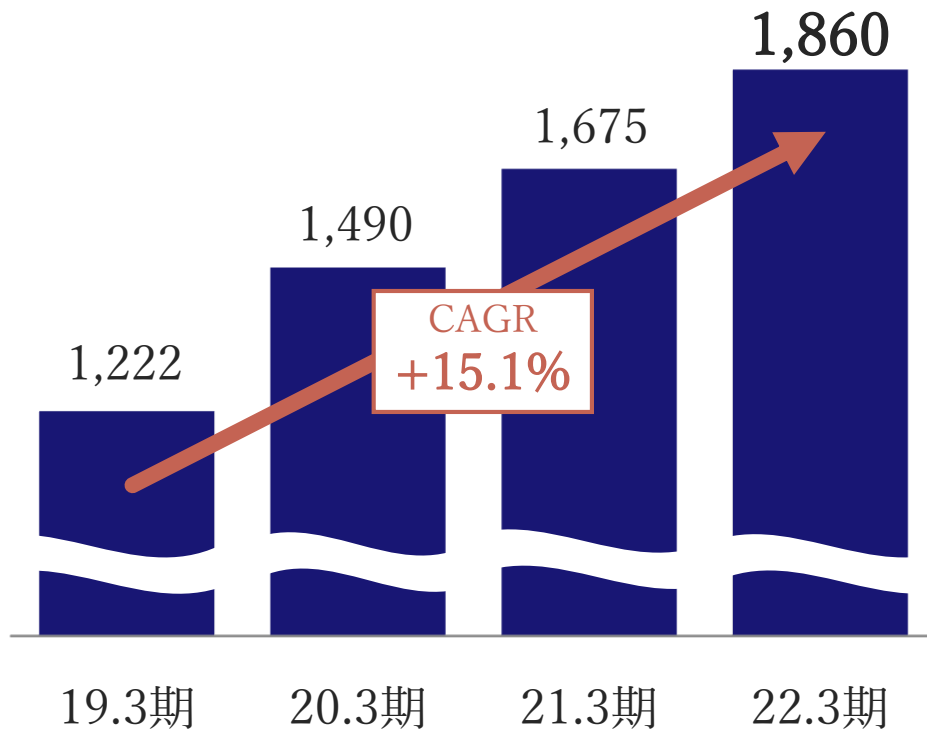
11.7兆円
(YOY +29%)

ビジネスセグメント

NEXTコア事業が牽引し、営業利益はCAGR二桁成長

営業利益

(単位：億円)



主要指標

NEXTコア事業

ビジネスセグメント売上高に
占める比率

22.3期 **31.9%**

IoT累計回線数*

22.3期 **2,450万回線**
(YOY+650万回線)

* KDDI単体ベース

au Design project
iida



ありがとう3G

3Gサービスをご利用いただき
ありがとうございました



ありがとう

3G

2022.3.31

2002	第3世代携帯電話サービス開始
2003	「CDMA 1X WIN」開始 業界初のパケット定額制導入
2005	ワンセグ対応ケータイ「W33SA」発売
2006	総合音楽サービス「LISMO」開始 「EZweb」にGoogle検索エンジン導入
2011	KDDI初となる「iPhone」を発売

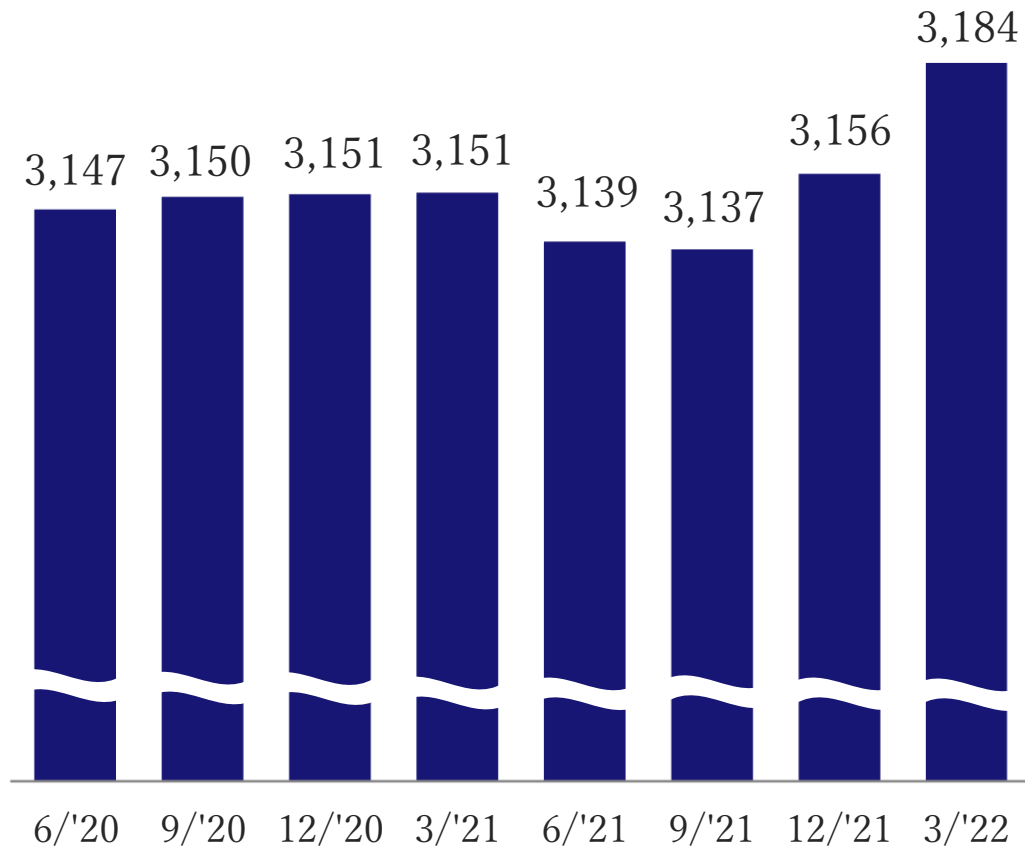
いち早く3Gを停波し
次の時代へ

Appendix

グループID数 / 総合ARPU

グループID数

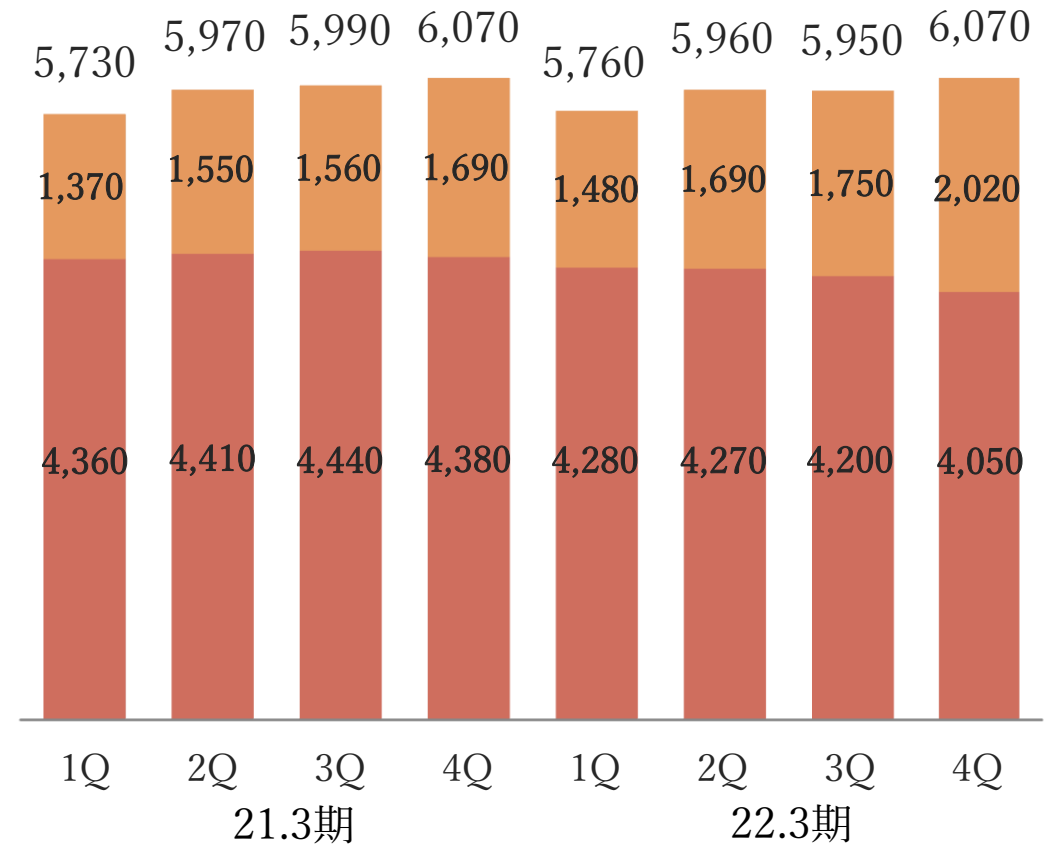
(単位：万)



注) パーソナルセグメント

マルチブランド総合ARPU

■ 通信ARPU ■ 付加価値ARPU (単位：円)



財政状態計算書・貸借対照表（2022年3月末）

総資産 11.08兆円

<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産 無形資産 使用権資産 	有利子負債
	営業債務及びその他の債務
	金融事業の預金
のれん	
営業債権及びその他の債権	その他負債
金融事業の有価証券	資本
金融事業の貸出金	
現金及び現金同等物	
その他	

KDDI(連結)

総資産 3.24兆円

現金預け金	預金
有価証券	
貸出金	その他
その他	

auフィナンシャルホールディングス(連結)

注) KDDI(連結)はIFRS、auフィナンシャルホールディングス(連結)は日本基準にて作成



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の情勢、経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。